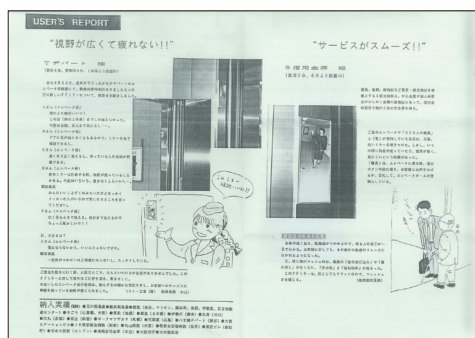


エレベータミラー物語

1987年4月、世界初のFFミラーが初めてデパートのエレベータに取り付けられた。
コミーの「エレベータミラー」の誕生でもあった。
なぜエレベータにミラーが必要だったのか？ なぜFFミラーだったのか？
その後コミーのエレベータミラーはどのように進化したか？ これからどうなるか？
今では「FFミラー」はボーイング機やエアバス機に使われるようになった。
この先駆けとなった「エレベータミラー」の軌跡を辿った。



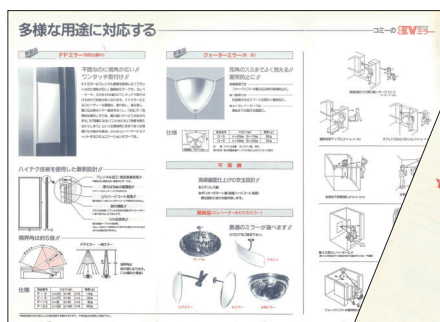
発売当初に作成した資料。
各社デパートにダイレクトメールを送った



前柱用ミラーのチラシ



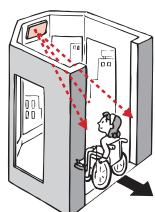
三方枠用ミラーのチラシ



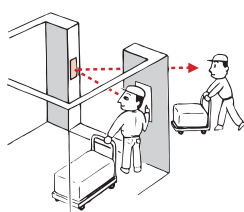
初期のカタログは3つ折りタイプ



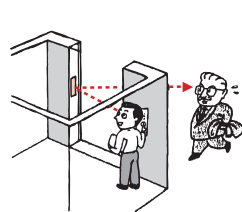
エレベータの使用例



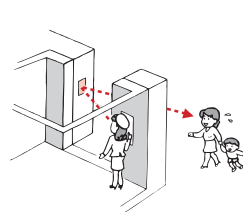
シースルーエレベータ
の車いす用に



運転効率アップに



オフィスでの心づかいに



商業施設での質の高いサービスに

—— コミの物語宣言 ——

コミは「共に喜びを味わえる物語」を創るために仕事をしていきます。

コミは 1973 年に設立。

おかげ様でコミの「気くばりミラー」は“身近なコンビニから航空機まで”
の広い分野でお役に立つことができました。これは

コミの商品なら「買ってみよう、使ってみよう」

コミなら「取引してみよう」

コミなら「本音を言ってやろう」「知恵を貸してやろう」

などの出会いから、長期にわたり継続していただいている方々のおかげです。

しかし、たくさんの失敗もありました。

コミでは仕事が終わって忘れた頃、またしつこく

「なぜ、あのとき失敗したか？」

「どんな出会いがあり、誰のおかげだった？」

「まだやりかけではないか？」

「一つ勉強になったぞ!! 他にも応用できないだろうか？」

など「?」「!」を話し合ってきました。

そしてできたのがコミ物語シリーズです。

一般に生物が生きるには「DNA 要因」と「環境要因」と「時間要因」があり
ますが、企業も商品もこの三つの要因です。

コミの「DNA 要因」は“出会いの喜び”“創る喜び”“信頼の喜び”です。
この喜びをもっと深くみつめ、これからの「環境要因」と「時間要因」を
考えていこうと思います。

共に喜びを味わえる物語を創るために、知恵を出し合いませんか？

または一緒に仕事をしませんか？

そして社会や次の世代に役立てる商品づくりや物語を創っていこうと
思いますので、よろしくお願い致します。



コ ミ ー 株 式 会 社

代表取締役 小室 宗

—— 何をつくっている会社ですか？ ——

昔、「松下電器は何をつくっている会社ですか？」と聞かれ、松下幸之助は答えたそうです。

「**うちは人をつくっている会社です**」と。

また、総理大臣の吉田茂は「総理、あなたはいつも何を食べていますか？」と聞かれ、

「**人を喰っている**」と答えたそうです。

「コミーさんは何をつくっている会社ですか？」と、ある大学のインターンシップの発表
懇談会で学長から聞かれ、偉大な二人を真似て答えました。

「**物語を創っている会社です**」

「???」

私たちは売上げの拡大よりも“出会いの喜び”“創る喜び”“信頼の喜び”を味わえる仕事を大切にしていきます。

エレベータ ミラー物語

目 次

1. プロローグ	2
・技術面からの遊び心で FF ミラー（Fantastic Flat Mirror）の開発を始める	
・マーケット面からの貴重なアドバイスを受ける	
2. 飛び込んできた注文とユーザー 5 人の声に手応え !!	3
3. トラブル発生 !! 割れた。剥がされた。盗まれた。	6
4. 私たちは「車いす生活」をいかに知らないか	7
5. ミラーが付いた。しかし誰も気づかなかった	9
6. 「待っていてくれてありがとう」。気くばりに感謝	10
7. 「夢」は世界のエレベータに !!	16

エレベータって、どんな問題が発生するところか？

「広辞苑」（新村出編 岩波書店刊）によると、エレベータとは「動力で人や貨物を上下に運搬する機械。昇降機。リフト」とあるが、乗り降りする人や貨物により、またエレベータが設置されている環境によって、その言葉だけでは説明し尽くせない、実に様々な事象がある。ここでは人が乗るエレベータで考えてみよう。

- ① エレベータ内は扉を閉めると、完全な密室である。
- ② エレベータ内から通路の全容は見えない。
- ③ エレベータ内で操作ボタンを早く押しすぎて、駆け込んでくる人に気付かず、挟み込んでしまったり、乗り残してしまうことがある。
- ④ 一人だけで乗るとき、後から乗ってくる人が気になる。
- ⑤ 二人だけの場合、乗り合わせた人が気になる。特に女性の場合、夜は心配だ。

- ⑥ 同じ職場の人と乗るときと、来客と一緒に利用するときがある。
- ⑦ ほとんどの場合、前向きで乗り、180 度方向転換して降りる。
- ⑧ 車いすの人が一人で乗り降りする。ほとんどの場合、前向きで乗り、後ろ向きで降りる。
- ⑨ ベビーカーを押して乗る人、また車いすの人を介助して乗る人がいる。
- ⑩ 大きな荷物を持ったり、台車に荷物を載せて乗る人がいる。等々。

このように、様々な人が乗り降りし、時間帯によって刻々と変化するエレベータ空間は、私たちに次々と問題を提起してきた。そしてその問題は実に多種多様だ。

1. プロローグ

■技術面からの遊び心で FF ミラー（Fantastic Flat Mirror）の開発を始める

なぜ凸面ミラーがあるのに、フラットで視野が広いミラーがないのだろうか。
FF ミラーの開発は素朴な疑問から始まった。1986 年春のことだった。

試行錯誤を繰り返し、半年後には凸面鏡と同じ機能を持つ面白い FF ミラーができた。微小の傷やゴミにより反射効果が損なわれるという問題をクリアするためにさらに研究を重ねていたが、それが必要とされるのはどこだろうか？
みんなで考え続けた。

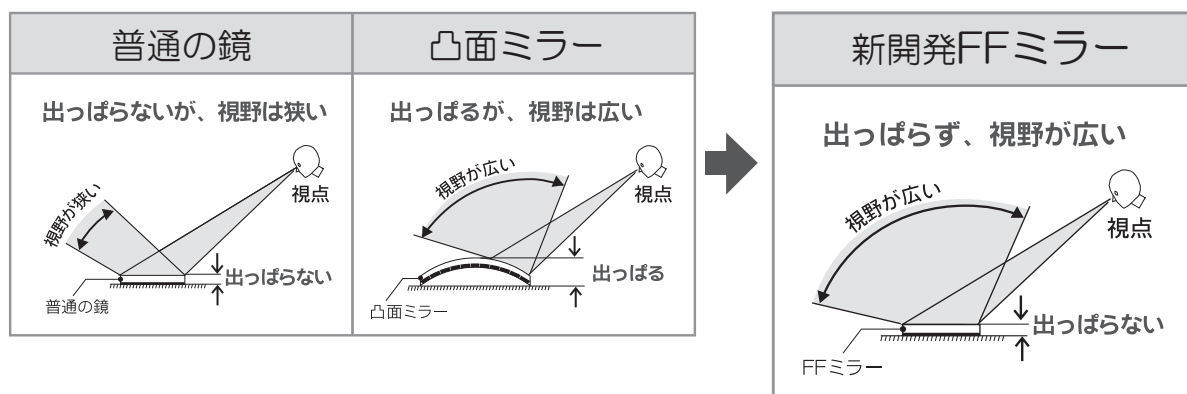
■マーケット面からの貴重なアドバイスを受ける

1985 年、千葉・成田ビューホテルで開催されたビジネスセミナーで、マーケティングの専門家、(株)リコーの小田島弘氏から「コミーさん、エレベータミラーは未開発分野で市場性もある。エレベータメーカーは大企業だから代金の取りはぐれもない。開発してみては？」とアドバイスされた。それから間もなく、なんと、それが現実となった。

世界初!! FF ミラー（Fantastic Flat Mirror）

コミーが開発したフラットなのに視野が広い不思議なミラー。

航空機の手荷物入れ、ATM や券売機、駐車場、エレベータ、オフィス通路などの安全、防犯、効率アップなどに広く役立っています。



2. 飛び込んできた注文とユーザー 5 人の声に手応え !!

1986 年末、東京郊外にある T デパートの建物の管理部門から問い合わせがあった。

「コミーさん、ミラーを作っているならエレベータのミラーを作ってくれない？
今までのミラーは角度が変えられて困るし、ドアや荷物がぶつかってしまうから…」

この店舗は田園調布や成城といった高級住宅地を商圈に持ち、1969 年のオープン以来、日本初の郊外型大型ショッピングセンターとして、関係業界はもちろん、全国の一般消費者からも注目を集めていた。

FF ミラーがほぼ完成したものの、使いみちを模索していた私たちは早速現地に飛び、状況を確認した。同店の客用エレベータにはすでにバックミラーのような小さなミラーが付いていたが、視野が狭かったことや容易に角度が変えられることから、多くの問題が生じていた。

エレベータレディが客を迎える際、客が駆け込もうとしていることに気付かず閉めてしまい、ドアにお客が挟まってしまうことがたびたびあったという。そこでもっと性能の良いミラーはないか、探していたのだ。

1987 年 4 月、同店の客用エレベータ 4 台に FF ミラーが取り付けられた。それぞれドアの戸袋のところ（前柱）と内側に 1 枚ずつ、合計 8 枚。これがコミーのエレベータミラー、初めての設置事例となった。

設置から翌年の 8 月、夏休みでごったがえす同店を訪問した。設置した FF ミラーの状態確認とともに、エレベータレディの皆さんに設置後の感想をお聞きしたかったからだ。普段は入ることのできない、女性スタッフだけのエレベータ係控室にて、交代時間で休憩中の女性 5 人に率直な話を聞くことができた。

A さん「前のミラーより絶対いいワ!! 前のはこの辺（体の上半身）までしか見えなかったけど、今度は全部、足元まで見える」

B さん「ドアが足にあたることもあるので、ミラーを見て確認できる」

C さん「遠くまで広く見えるし、待っている人の全体が把握できるのでいい」

D さん「前のミラーは仕事をする前、角度が変わっていることがあった。今度はいちいち直さなくてもいいので助かる」

E さん「このミラーを付けてからお客が挟まってしまうこともなくなり、とてもいい」

……等々。

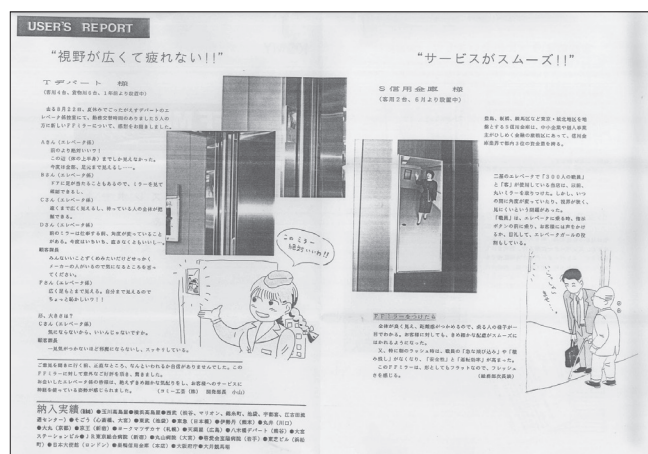
「私たちの足まで見えてしまうので恥ずかしい」と恥ずかしそうに話す人もいたが、エレベータレディの皆さんに役に立っていることを実感し、大いに感激。

2. 飛び込んできた注文と5人のユーザーの声に手応え!!

まさに天にも昇る気持ちになった。

また、この店はいつも大勢のお客で賑わっているが、エレベータに乗るお客がいつも大勢いるかという、たまにはたった一人というときもあり、特に男性と乗り合わせると不安を感じる。そのときこのミラーがあると安心する、という話も伺い、一層、エレベータミラーの必要性や役割を実感し、FF ミラーの効果に自信を深めた。

そこでこのような具体的な感想をユーザーズレポートとしてまとめ、エレベータミラー PR 作戦を開始した。都内はもちろん、関東近県の大手・中堅デパートにエレベータミラーの効果を実証したところ、少しずつ、問い合わせや注文が来るようになった。

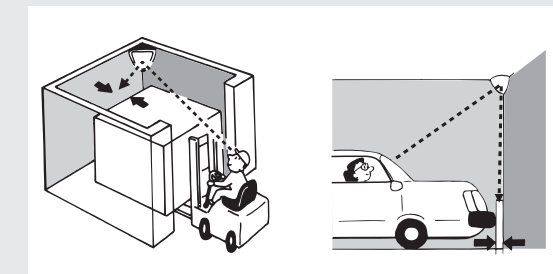


ユーザーズレポートを作成し、各社デパートにダイレクトメールを出した

コーナーに収まるエレベータミラーも活躍

遊び心で FF ミラーを開発していた頃、小田島氏のアドバイス（2頁参照）を受け、凸面ミラーによるエレベータミラーの開発も並行して行っていた。いくつか試作を重ね、1991年、死角のすみまでよく見えるエレベータミラー「クォーターミラー」を開発した。半球を四等分して、コーナーにピッタリと収まる、コンパクトで造形美にも優れた画期的な立体ミラーだ。

貨物用エレベータでは、積み込むときにフォークリフトや台車がエレベータかごの背面壁への衝突を防止することに役立つと人気を呼び、貨物用エレベータのメーカー、M 輸送機では現在、設計段階から採用されている。また一般用エレベータでは、閉鎖的な空間を明るく開放



的にする効果があり、痴漢防止、背後不安解消ミラーとして都内 T デパートで採用されている。

この凸面ミラー「クォーターミラー」も、FF ミラー同様、多くのエレベータ利用者のお役に立ちたいと全国各地で活躍中だ。

3. トラブル発生!! 割れた。剥がされた。盗まれた。

Tデパートにエレベータミラーを設置した翌年の1988年、都内にある地上39階建ての高層ビル、Tビルの管理部門からエレベータミラーの注文があった。そのビルは大手電機メーカー・T社が入るオフィスビルだった。さらに話を聞くと、貨物用のエレベータに付けるミラーだった。人が乗るエレベータではなかったが、「高層ビルのエレベータに入ったぞ!」と喜んだ。

フォークリフトや台車で荷物積み込み時、エレベータのかごをキズつけないようにと、エレベータの前柱にミラーを設置した。

積み込む際、いちいちかごを確認しなくてもいいので「運転効率が良くなった」と好評だったが、間もなくTビルの管理部門から、「ミラーがいたずらされて割れた」「台車がぶつかって割れた」と連絡があった。

そこで緊急に材質を検討し、ミラーの強度を高めたものを設置し直し、ホツとした。

しかし間もなく「誰かに剥がされてなくなった」という事件が発生した。思いもよらない2回にわたる全面交換のトラブルに驚きながらも、対策を研究して容易には剥がされないものにした。

Tビルのエレベータミラーは、それ以降、トラブルはない。

このことから、二つの貴重な発見をした。

●一度にたくさん作らなくて良かった!

新商品は少しずつ作り、改良を重ねるのがベスト。

●使用現場の違いに驚いた!

デパートのエレベータミラーは割られないのに、貨物用はなぜ割られたのか。なぜ剥がされたり、盗まれたりしたのか。貨物用は大体一人で乗る、つまり密室での使用である。密室はいたずらされる危険が非常に多いので、それに耐えられることが必要。設計するときは、どんな環境で使われるかを想定しなければいけないのである。

その後、Tビルではオフィス用エレベータにも設置。「乗り残し防止策に活用している」と大好評だ。現在、1万人を超える来訪者と社員の気くばりに役立っている。

4. 私たちは「車いす生活」をいかに知らないか

エレベータに乗ると、正面に大きなミラーが付いている。何のためのミラーか、知っていましたか？

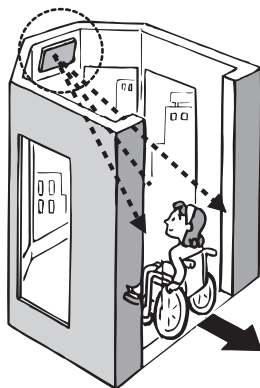
私たちがそのことを知ったのは、大手エレベータメーカー・F社から池袋・T芸術劇場のエレベータに設置するミラーの注文を受けたときだった。

「シースルーエレベータの正面にはミラーが取り付けられない。視野の広いコミーさんのFFミラーを付けたい」

「正面にミラーを取り付けるとはどういうことですか？」

F社の担当者に尋ねると、「車いすの人が乗り降りする可能性のあるエレベータには安全に乗り降りできるよう、エレベータに乗り込む正面にミラーの設置が法律で義務付けられている」とのことだった。

1990年、T芸術劇場のエレベータの上部にFFミラーを設置。「外の景観を楽しむと同時に安全に乗降できる」と、施設管理者からも信頼を得、F社ではその後も、他物件の同様のエレベータに採用している。



T劇場のエレベータに設置したFFミラー。FFミラーなら外の景観を楽しむと同時に安全に乗降できる。

フラットで視野が広いFFミラーはエレベータの正面上部に取り付けるだけで車いすの後輪周辺まで一目で見通すことができ、その性能は平面鏡とは比較にならないことも確認できた。

月日が経ち2002年、ある勉強会にいつも車いすで参加してくる若者「マサ」に出会った。「マサ」と話をする中で、車いすの生活全体について私たちがいかに無知であったかを知った。この出会いから「車いす人生の物語」が誕生することになった。

4. 私たちは「車いす生活」をいかに知らないか

「車いす人生の物語」より

アメリカでは「バックから乗れ!!」と誘導してくれました。「何故だと思いますか？」

アメリカのショッピングモールでの出来事でした。エレベータに乗り込もうとしたときです。一緒に乗り込もうとした男性に「バックから乗り込んだほうがいいですよ」と声をかけられました。そう言われてバックで乗り込んでみたのです。このおかげで、前進でスムーズに降りることができたのです。

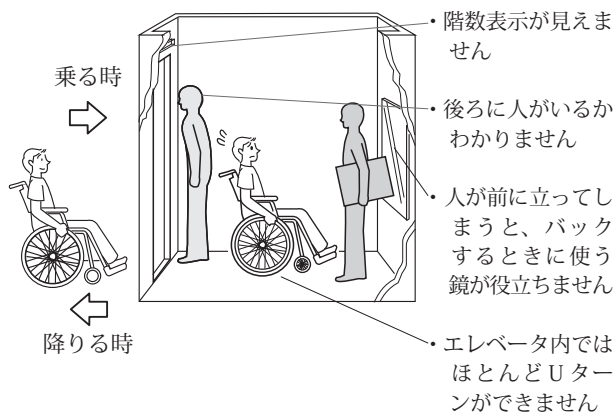
混雑したエレベータ内に前向きで乗ってしまうと、エレベータ内でUターンができなくなってしまったり、いくつかの問題が起こります。先ほどの例では、

乗り込むときに私の後ろにベビーカーを押したお母さんが2組もいたのです。

乗ったとき、ドアに向かって降りるのを待ちますが、それは当然、降りやすいからなのです。

つつい乗り込みやすさから前進で乗り込むことが多いのですが、後ろから人が乗り込んできたりするとUターンができないことが多々あるのです。

前から乗ったとき、問題があるのです

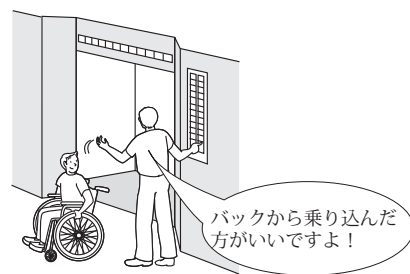
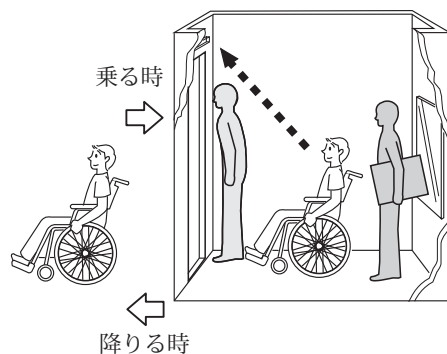


略歴

鈴木 雅彦（通称 / マサ）：

高校2年次に、手術中の医療ミスにより、下半身不随（L1）となる。1992年、1年半の入院を経て在学中であった高校へ復学し、1年後に卒業。その後、多摩大学経営情報学部に入學。卒業後、渡米し、「老年学」（Gerontology）のプログラムを大学にて専攻。米国各地にて関連セミナーなどに参加。2001年帰国後、多摩大学ソシオ・ビジネス研究会に所属。

後ろから乗れたらあとはラクラク!!



5. ミラーが付いた。しかし誰も気づかなかった

2003年エントランス用ミラー（三方枠用）を開発した。このミラーはエレベータの外側に取り付けることで、エレベータの内側にいる人が、居ながらにしてエレベータの外側の様子を確認することができ、安全にボタン操作ができるのがメリットだ。しかもかご用（出入口柱・前柱用）ミラーよりサイズが大きい
ため、より広い視野を確保することができる。

「良い商品ができた。誰もが喜んでくれる!!」と自信があった。

私たちはこのミラーを近隣の公共施設・K 総合文化センターへ設置してもらえないか、施設運営者との交渉に出向いた。

何度か交渉を重ね、2005年、やっと「仮付け」することができた。

設置後しばらくして、ミラーの効果を確かめようとK 総合文化センターを訪
問し、エレベータ利用者に聞いた。

「このミラーは何のために付いているのかわかりますか？」

ほとんどの人から返ってきた答えは「何で付いているのかわからない」だった。
付いていることすら気付かない人もいた。

びっくりした！

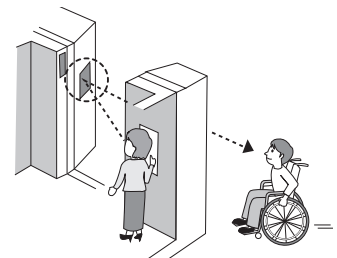
「仮付け」したのは、エレベータミラーの効果をより多くの方に知っていただ
きたかったからだった。それなのに、利用者にはその思いは伝わらなかったのだ。

思ってもいなかったエレベータ利用者の反応に愕然とした。

自分たちが良かれと思っても、利用者が使い方を理解して便利に使わなけれ
ば意味がない。大事なことはきちんと相手に伝えなくてはならないのだ。

そこで考え至ったのが、ミラーの下に「目的表示シール」を付けることだった。

その後は利用者がミラーを便利に活用したことは言うまでもない。



FF ミラー三方枠用のメリット

- ・エレベータの外側に取り付けでき、エレベータ内においても外の様子を確認できる
- ・前柱用ミラーよりサイズが大きい
ため、より広い視野を確保できる



付ける前



付けた後



「目的表示シール」を付けた後、利用者はミラー
の使い方がわかり、見てくれるようになった

6. 「待っていてくれてありがとう」。気くばりに感謝

FF ミラーがエレベータミラーとして初めて商品化された 1987 年、「死角を生かす気くばりミラー」というキャッチコピーを考えてくれた人がいた。以来、コミーは「気くばりミラー」としてブランドを作ってきた。エレベータミラーも例外ではない。エレベータには多くの死角があった。

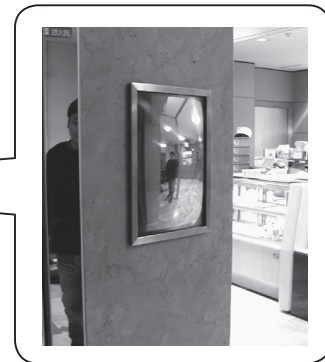
2009 年からは社員全員十数人で考えた「死角に気くばり」という極めて短い言葉のキャッチコピーに変え、「気くばり」への思いを一層強くした。

では、エレベータミラーを付けることで、実際にどのような「気くばり効果」があったか？ ユーザーの声から、検証することにした。

●女性客への配慮、不安解消、防犯上の効果に期待できます

(T 百貨店 安全管理部様)

このミラーで乗り残しをなくしたり、ドア挟み込みを防止できると好評です。また、女性客などにとっては乗り込もうとしたときに中の様子がわかり、不安解消や防犯上の効果も期待できます。



●お客様への細かな配慮が可能になりました

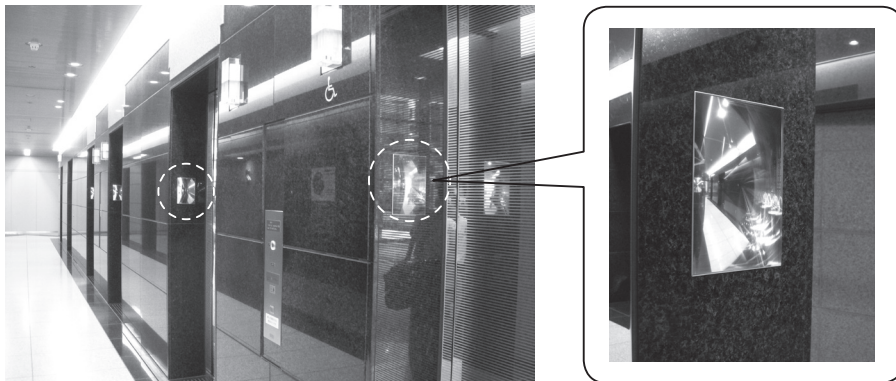
(S 信用金庫 総務部長様)

当信用金庫のエレベータは職員とお客様が同じエレベータを利用していますが、全体の様子がよく見え、距離感がつかめるので乗り合わせた職員がお客様へきめ細かな配慮を行うことができるようになり、お客様とのコミュニケーションもスムーズになりました。また職員間では特に朝のラッシュ時、ミラーでの確認が日常化して「急な飛び込み」や「乗り残し」がなくなり、安全性と運転効率が高まりました。

●人間関係が和やかになり、やさしいビルになりました

（新宿エルタワービル管理（株） 専務取締役 小阪勝実様）

エレベータに乗ろうとすると、目の前で扉を閉められてしまうと不親切だなと感じることがあります。特に混雑する出勤時間帯には降りてくるまで長く感じます。そんなとき、このミラーのおかげで待っていてくれたとなると、ありがたいという気持ちになって人間関係も和やかになります。おかげさまで、ビル管理者にとってテナントさんに喜んでもらえ、テナントさんにとっては来訪者に喜んでもらえる、やさしいビルになりました。



●「快適なビル」と喜んでもらえるよう導入しました

（朝日ビル管理（株）様）

上場企業を含め、13社のテナントが利用するエレベータです。ドア挟み込みや見切り発車による不快感の防止に役立つと思います。テナントに喜んでもらえると思い取り付けました。



6. 「待っていてくれてありがとう」。気くばりに感謝

●顔を出しての確認が不要になり、気くばりが容易になりました

(ALSOK 総合警備保障(株) 管理部様)

女性が顔を出して、乗りたい人がまだいないか確認している姿をよく見かけました。このミラーのおかげで右方向と斜め正面からやってくる人を自然に確認できることで気くばりが容易になり、大変助かっています。



●人に優しい環境づくりが期待できます

(青梅市立総合病院 管理課 村木様)

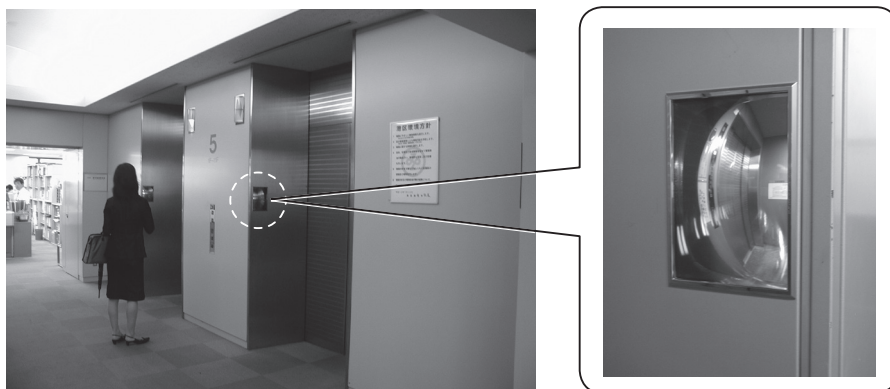
医療施設では、安全が最優先。患者さんの挟み込み事故防止、配膳車やベッドの移動のときの安全な出入りにも役立ちます。また、車いすの患者さんを待ってあげることもでき、バリアフリー効果になっています。



●気持ち良く利用してもらう上で、エレベータでの気くぼりは大切だと思います

(港区役所 庁舎管理係様)

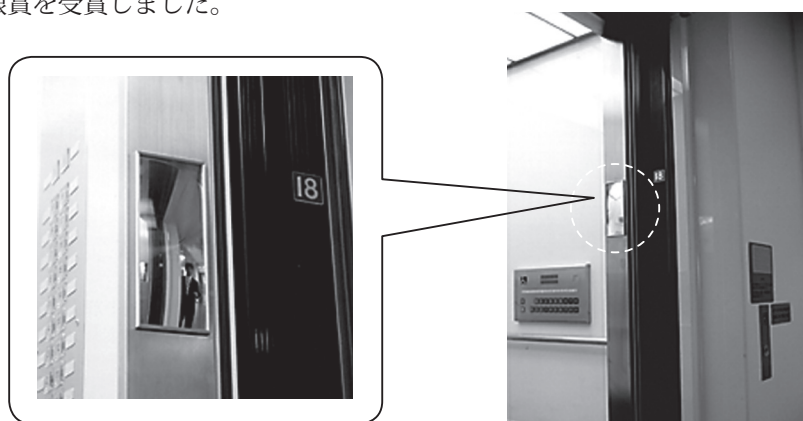
高齢者がよく訪ねてみえる国保年金課のある3階と、出入りが比較的多い5階の全エレベータに設置しました。ドア挟み込み事故や置いてきぼりを防ぐのに役に立ちます。来庁者に気持ち良くこの庁舎を利用してもらう上で、エレベータでの気くぼりはとても大切なことだと思います。また、職員や宅配便等業者が利用する業務用エレベータでは、乗り合わせすることで運転効率や仕事のロスタイムを防げると好評です。



●来庁者へのサービス向上に役立っています

(宮城県庁職員 高橋一満様)

宮城県庁で「県民サービスの向上に向けて」という課題で職員からの提案を募集していました。「エレベータの扉付近に、ボタンを操作する内部の者が外部を見渡せるようミラーを設置し、扉の開閉時における安全を確保する」という私の提案が採用され、FFミラーが設置されました。見切り発車や挟み込み事故防止に役立ち、設置後の評判もよく、サービス向上に役立っています。この提案で銀賞を受賞しました。

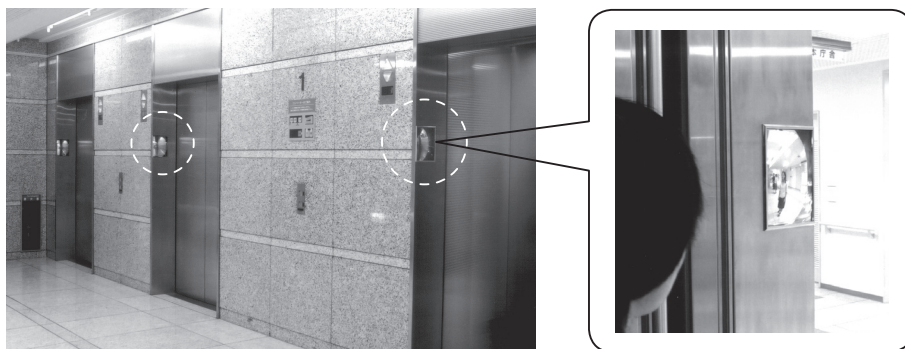


6. 「待っていてくれてありがとう」。気くばりに感謝

●誰でも安心して利用できるようになったと思います

(千葉県庁 管財課 伊藤様)

職員より「エレベータ内に乗り込もうとしている方を挟みそうになった。ミラーを付けては？」という提案が、庁舎内のネットワーク掲示板にありました。FFミラーを設置しましたが、思った以上に広い範囲が見えるので、誰でも安心して利用できると思います。出っ張りがなく邪魔にならないところがいいです。



●来庁者への気くばりができるようになりました

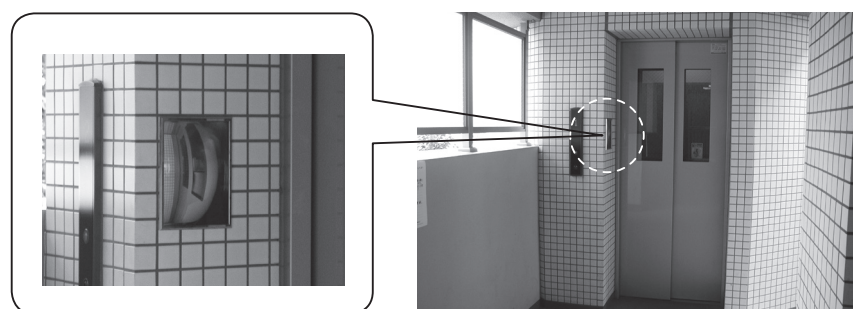
(川口市役所 環境総務課環境マネジメントシステム担当主事 遠藤淳様)

このミラーのおかげで、わざわざエレベータ内から顔を出して確認しなくてもよくなりました。ボタン操作をする人がごく自然にこのミラーで乗り残しを確認している様子もよく目にします。確実に来庁者への気くばりができるようになり、快適な職場に一步近づいたと思います。

●居住者のコミュニティづくりに欠かせぬ道具です

(クレセントオードヴェール 管理組合様)

30代の若い層も多く、乳母車をよく見かけますが、このミラーを使えば、エレベータを利用する際に、ちょっと親切に待ってあげることができます。些細なことでもみんなで気持ち良く暮らそうというコミュニティづくりに欠かせぬ道具だと思います。



私たちは改めて気付いた。エレベータミラーは設置されたエレベータの環境の違いによって、ハード・ソフトの両面で、リアルタイムで利用者と向き合っていたのだ。その効果は利用者の声にしっかりと表れていた。
私たちの思いは利用者に伝わったのだ。うれしかった！

エレベータミラー開発・販促の経験が航空業界参入の勇気の源になった！

FF ミラーはエレベータミラーとして初めて世の中に登場し、利用者のニーズに応じて発展してきた。しかしここで忘れてはいけない大切なことがある。

1997 年、「FF ミラー AIR」がボーイング社に採用されたことで、コミーは航空業界への参入することができた。それが実現できたのは、1986 年以来、エレベータミラーの開発、販促を通じて得た、“苦節 10 年の経験”があったからこそ。

その経験によって私たちは極小企業と言っても FF ミラーの価値を十分認識していたため、航空業界大手とも勇気



を持って交渉することができ、信頼を得ることができたのだ。

現在、「FF ミラー AIR」の世界への累積出荷台数は 140,000 台突破（2012 年 1 月現在）。しかもクレームゼロ更新中だ。

（コミー物語シリーズ
「航空業界参入物語」参照）



7. 「夢」は世界のエレベータに!!

私たちはエレベータという特殊な環境から投げかけられる様々な問題に対応し、FF ミラーの良さを最大限生かしたエレベータミラーを開発してきました。

その結果、最大の課題だった挟み込み・乗り残し防止から車いすの人のためのミラーや最近特に増えてきた背後不安解消のためのミラーまで、ほとんどの問題がFF ミラーで解決できることがわかりました。

一方、ソフト面でエレベータミラーが大切な役割を担っていたことも、利用者の声から明らかになりました。それは人と人との心をつなげる大切なものでもありました。

エレベータミラーは、日本で生まれ、日本で育ちましたが、まだ世界へは旅立っていません。私たちの「夢」はいつの日か、コミーのエレベータミラーが世界中のエレベータに設置されること。

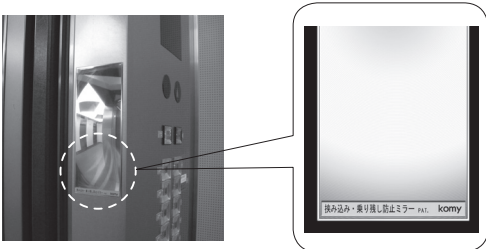
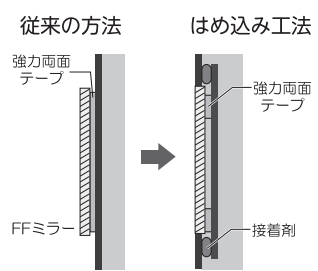
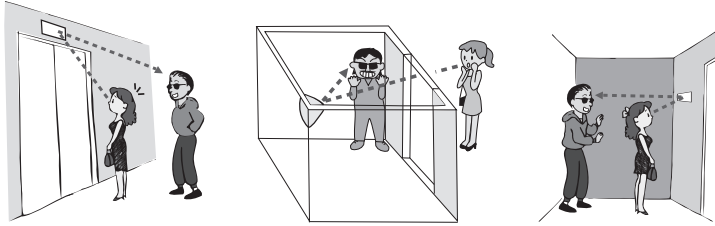
そのために、私たちはこれからも「出会いの喜び」「創る喜び」「信頼の喜び」を味わいながら、利用者の心をつなぐ「気くばりミラー」を開発していきたいと思えます。

今後ともよろしくお願い致します。

コミー株式会社

代表取締役 **小室山 栄**

エレベータミラーの歩み

1985年	8月	マーケティングの専門家、リコーの小田島弘氏から「エレベータミラーを開発してみたら」のアドバイスをもらい、開発に入る
1986年	12月	Tデパートからエレベータミラーの問い合わせあり
1987年	4月	Tデパート客用エレベータにFFミラー納品。「エレベータミラー」誕生
1988年		Tビル（34階高層ビル）貨物用エレベータにFFミラー納品
1990年		T芸術劇場に車いす用「シースルー用ミラー」設置
1991年	3月	「クォーターミラー」発売 
2003年	7月	エントランス用ミラー「FFミラー EVE」（三方枠）発売
2005年		エレベータミラーの下に「目的表示シール」設置 「FFミラー EVE」の見える範囲がわかる「3D視野シミュレーションソフト」完成
2006年		「FFミラー EVE」をフチのないシンプルなデザインに設計変更
2007年		初めての人にもミラーの目的がわかるように、「FFミラー EV」に「挟み込み・乗れ残し防止ミラー」と使い方を表示 
2013年	6月	東京都健康長寿医療センターの新施設に、58枚のミラーを「はめ込み工法」で設置。  
	11月	用途（設置場所）がわかりやすいように商品名を変更 ・「FFミラー EVE」 → 「FFミラー三方枠用」 ・「FFミラー EV」 → 「FFミラーかご用（出入口柱・前柱用）」
	11月	「知らない人と乗り合わせるのが怖い」という女性の声を受けて、3種類の「エレベータ安心ミラー」を考案。  待っているときに安心 乗り込むときに安心 乗っているときに安心

コミーの物語シリーズ

新商品と マーケティング	・ 航空業界参入物語 ・ 突っ張り棒の物語 ・ ユーロショップ出展記 ・ 「日経新聞全面広告」物語	・ 「ラミ」開発物語 ・ ブランド物語 ・ はったり写真づくりの物語
モノづくり	・ モノづくり屋自慢（日刊工業新聞掲載） ・ 新社屋建築物語 ・ デルに学んだ物語	・ 部品番地の物語 ・ 「掃除と分類」物語
社会とコミー	・ 「万引問題」物語	・ 車いす人生の物語

小冊子が欲しい方はお気軽にご連絡下さい。HPにも掲載されています。

コミーの本	・ なぜ、社員 10 人でもわかり合えないのか（発行：日経 BP 社 定価：1,470 円） ・ 仕事学のすすめ（発行：NHK 出版 定価：550 円）
-------	---

コミーの詩^{うた}

「なぜ」「なぜ」「なぜ」

- | | | |
|---|---|---|
| ① へ、へ、コミーの気づきばりは
死角を生かして三十年
世界のお役に立ちたいが
まだまだ「問題」探します | ② もん、もん、問題発見は
現場を見ればここかしこ
なぜ、なぜ質問繰り返し
こんなテーマはどうですか | ③ 昨日の出来事、今朝整理
掃除で何かに気づきます
今日は必ずこの仕事
遂げて創るぞ物語 |
|---|---|---|

出会いの喜び、創る喜び、信頼の喜び

- | | | |
|--|--|--|
| ① で、で、出会いの勉強会
名刺の交換 後訪ね
「あなたの得意は何ですか」
教えられたり 教えたり | ② お、お、面白ネタ探し
思いついたらすぐ試作
脳に汗かき考えて
創ってみたがやり直し | ③ コミーのミラーはどうですか
お役に立っているでしょか
どんな役立ちしてますか
それとも使っていませんか |
|--|--|--|

隣組などを替え歌にして歌ってみてください（著作権消滅になっています）

- 隣組(とんとんとんからりと隣組…) ● 鉄道唱歌(汽笛一声新橋を…) ● 一月一日(年の始めの ためしとで…)
- ともだち讃歌 (一人と一人が腕組めば…) ● 一寸法師 (指にたりない 一寸法師…)